

新春経済講演会に330人 高岡達之氏が “災”を中心に語る



「今年の景気は減速傾向」と高岡氏
(1月30日舞鶴市商工観光センター)

今年度の「新春経済講演会」は、1月30日読売テレビ報道局解説委員の高岡達之氏を講師に舞鶴市商工観光センターで開催しました。

高岡氏は、「災（わざわい）」をキーワードに話を進められ、「現在は『健康』と『環境』が社会経済の重要なテーマ」として、始めに中国武漢市で発生した“新型コロナウイルス”について、邦人救出に米国より早く動いた日本政府を評価するとともに、情報公開に消極的な厚生労働省と大阪府知事の原則公開の対応との違いが、安心感を左右することなどを指摘。

また環境については、真逆の議論もある中、どのような局面でも利益につながるヒントや方向性が存在することを「おむすび」の話も絡めながら、ユーモアも交え話されました。

今年の経済については、「緩やかな減速傾向。五輪で景気は上がらないし、ラグビーファンのように世界から人は来ない。ただ、商機はどこにもある。中小企業の経営者は、国内外のあらゆる状況を注視し投資を考えるべき」との見解も示されました。

聴講した約330人の皆さんからは、「楽しい講演会でよかった」「分かりやすかった」などの声があがっていました。

「中小企業景況調査」 10月～12月期

全業種の業況は2.0ポイント悪化

舞鶴商工会議所が実施した、中小企業景況調査第3四半期（10月～12月期）の結果がまとまりました。概要は別表のとおりです。

業況については、「全業種」で前期のマイナス24.0に対して、今期はマイナス26.0となり、2.0ポイントの悪化となりましたが、来期の見通し（2020年1月～3月期：昨年同期比）では、マイナス16.5となっています。

業種別では、「建設業」、「サービス業」が改善。一方で「機械金属業」、「木材業」、「小売業」、「卸売業」は悪化しました。なかでも「小売業」については、3期連続で悪化となっています。

また「機械金属業」、「木材業」、「卸売業」は前期で改善したものの、今期は悪化しました。

今回の調査対象は123社で、96社（回収率78.0%）からの回答でした。

【別表】業況DI(2018年10月～12月期から2020年1月～3月期まで)

業種	月	2019年					2020年	
	2018年 10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	比較(%)	1～3月	
全業種	-24.2	-25.0	-27.3	-24.0	-26.0	-2.0	-16.5	
機械金属業	7.7	-9.1	-13.3	23.1	7.7	-15.4	30.8	
建設業	13.3	-35.3	-29.4	-31.3	-13.3	18.0	0.0	
繊維工業	-33.3	0.0	-33.3	-33.3	-33.3	0.0	0.0	
木材業	-33.3	-33.3	-16.7	0.0	-16.7	-16.7	-66.7	
水産加工業	-40.0	-50.0	-33.3	-50.0	-50.0	0.0	-50.0	
サービス業	-32.0	-16.7	-22.7	-24.0	-16.7	7.3	-16.7	
小売業	-68.8	-40.0	-41.2	-62.5	-70.6	-8.1	-46.7	
卸売業	-16.7	-14.3	-30.8	-9.1	-25.0	-15.9	-10.0	

※DIは景気が「良い」と回答した企業から「悪い」を引いた指数
※2020年1月～3月期の数字は、前年同期比の来期見通し